

MI_2427：iVarioのモーター - 機能テストとモーターの校正

iVario 2-XS、iVario Pro
2-S、L、XL

10分



-



2024年5月8日

テーマ

ここでは、機能テストとモーターの校正についてご説明します。

対象となる製品/アクセサリ

iVario

- 2-XS

iVario Pro

- 2-S
- L
- XL

一般情報

キャリブレーションの目的は、機能の信頼性を確保するためにモーターの限界位置値（デジタル値）を公差範囲の中央に設定することです。

そのプロセスは、iVarioのユニットサイズによって若干異なります。

バリエーション 1：パンと蓋用にモーター1台

バリエーション 2：パンと蓋用に別個のモーターが1台ずつ

以下のプロセスは、取り付けられているすべてのモーターで別個に実行する必要があります。

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

注記

モーター動作がロックされていません。

モータが作動すると、ユニットが損傷する危険があります。

- モーターが作動する際に蓋とパンがぶつからないように注意してください。

注記

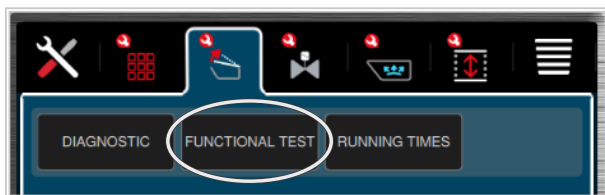
地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があります、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

作業手順 - 機能テスト

- ✓ パンと蓋が空で、エンドストップまで自由に動きます。
 - ✓ ソフトウェアバージョンがLMX-2.13.8またはそれ以降。
1. サービスレベルの「動作」で機能テストを開始します。



- > 校正値がデジタル値を1:1で置き換えます。これは必要に応じてサービスリファレンスの値で確認できます。
 - > 角度情報が電圧に置き換えられます。この値はトラブルシューティングのために電圧計で比較することができます。
 - > 前回の校正の日付が表示されます。日付が入力されていない場合、校正がまだ実行されていません。
 - > 校正は必要に応じて実行できますが、必須ではありません。
- >> 機能テストが終了しました。

作業手順 - モーターの校正

1. ボタン (1) を押して校正を開始します。「校正を中断する」を押すとプロセスを中断できます。
2. ボタン (2) を押して各モーターをエンドストップまで動かします。
3. エンドポジションをチェックマーク (3) で確定します。
4. ボタン (4) を押して値を保存します。
5. 必要に応じて次の指示に従います。
6. 必要に応じて他のモーターを校正します。

>> モーターの校正が完了しました。



